

THE HEILOO DECLARATION

HEILOO 宣言

ピアと実体験に基づくリーダーシップ

精神疾患や物質使用障害の課題を直面している当事者の経験や、愛する人がそのような課題を抱えていてそれを身近に支援した経験は、リカバリー、ウェルビーイング、自立、主権（authorship）、人権の分野におけるリーダーシップにとって不可欠な特別でユニークな専門性や知識、能力を結果として与えてくれます。

現在の体験や過去の体験に基づいて身に着けたリーダーシップは評価され、尊重されるべきです。私たちの専門性は、リカバリーに基づくアプローチとイニシアチブの可能性を解き放つために、システム、サービス、社会を変革するために世界中で生きてきます。私たちは、精神疾患の課題に影響を受けるすべての人の生活の改善に貢献し、精神疾患や物質使用の課題に影響を受けるすべての人に市民権を保証するという視点を持ちます。

実体験に基づいて獲得したリーダーシップは、自ずとリカバリーとウェルビーイングに対して文化が果たす役割を認識しています。それはつまり、人々がそれぞれ自分自身のレンズで物事を（考えて）実践することを尊重することができる人が生まれることになります。異なる文化的背景を持つ人々を育成し、正当に評価し、尊重することにも繋がっています。これはシステム変革を促進します。

現に体験している人たち、及びこれまでに経験した人たちをリクルートしてリーダーシップを教育、養成することは世界的急務です。また、設計、実施、政策策定、評価/研究の取り組みのすべてを通じてそのリーダーシップは発揮されるべきです。

現に体験している人たち、及びこれまでに経験した人たちのリーダーシップは、個人レベル（自分のリカバリーの道を導く）から上級の指導的立場（実体験をした人たちへの低い期待値や偏見を払拭する）までのどのような段階においても、支援されるべきであり、可視化されるべきです。

先住民コミュニティ、有色人種、民族グループ、若者、2SLGBTQI+、農村部、退役軍人、女性、障害を有する人々、難民/移民など、多様で疎外された人々の実体験を尊重し、実体験に基づく彼らがリーダーシップを握ることを支援することが不可欠です。

現に体験している人たち、及びこれまでに経験した人たちのリーダーシップを持つリーダーは、次の分野において次の大事な原則に基づいて治めます。すなわち、エンパワーメント、相互支援、権利の保護と増進、尊重、社会変革です。彼らがリードする際には、次の点も踏まえます。すなわち、全人的アプローチ、レジリエンス、ウェルビーイング、説明責任、自己決定権/選択権、社会で彼らが孤立しないようにすることである。彼らは、ストレングスアプローチを使用しており、リカバリーには多くの方法や道があることを認識します。リカバリーの旅路に不可欠な要素（触媒 catalyst）は、「希望」であることも心得ます。

現に体験している人たち、及びこれまでに経験した人たちのリーダーシップを発揮していただくべく、そのことを応援するこの働きに皆様にも加わっていただきたくこの支援の輪にご招待いたします。



The above was drafted and accepted by participants from 12 nations at the June 24-25, 2024 Peer and Lived Experience Leadership Match sponsored by the Global Leadership Exchange. We acknowledge that we do not represent all voices of lived/living experience and honour the leadership of past generations that have created the foundation on which our efforts stand.